

1. 当初の挨拶

○皆さん今日は、木村と申します。

まず、最初にお断りします。私は、有家に生まれて、有家に育ちました。

早口の上に方言でしゃべりますので、聞きづらいかも知れません。

最初に本日のお話したい内容を言います。あとは、それらの注釈とそれを実践する智恵獲得の方法をお話しします。その後は目をつぶっていて結構です。

具体的には、経験に基づき皆さんが置かれるだろう環境を想定して、それに即した独自の提案をお話しします。

これから、就職や進学、又は家業を継がれるなどで、各方面に行かれると思います。就職される人が大半と聞いています。就職と言いますが、日本では、まだまだ就社です。技術を持っていても事務部門に配属されるかもしれません。

社会に出ることは、出来るものと出来ないものを見極めながら、出来るものを伸ばし、出来ないものを出来るように経験を積みながら勉強することでしょう。資格取得もそうでしょう。専門学校や大学へ行くのは、可能性を広げるためです。

仕事や勉強と並行して大切なものがあります。それは人権問題です。人権侵害は人が人に与えるもので、見えないところでおこるものです。

人は、目で直に見て確認して、聴いて納得したものなら安心して信用するので、私は、可能な限り相談者に、そのように対応しています。

会社でのパワハラをはじめ各種のハラスメントで、病気に成って社会復帰出来ないでいる人、ひきこもりの人、最悪には命をなくす人もいます。

有名大学への入学、一流企業への就職ばかり考えるのではなく、社会人としてどう生きてゆくかが大切です。

皆さんは学校で12年間勉強をしてきておりますが、社会に出て人間関係で困ったときの対処の仕方を習ってきていません。よって、戸惑ってしまいすぐつまづいてしまう人が多いのです。

これまで、両親や家族に守られてきました。これからは、自分で自分を守ることにになります。

就職して、受けて感じない人もいますが、必ず大なり小なり人権侵害を受けます。人間は万能ではない。一人で何でもしようとしなさい。できる人を使うことも大切です。出来ないことは、できる人に頼る勇気を持つことです。専門機関に相談していることが周囲に知れても、それこそが抑止力に成ります。

人権侵害は、一人では解決できないと思ってください。相談することは、問題がおきたとき、話す相手が必要だからです。自分だけでは、思案が堂々めぐりしてしまい、問題に問題を重ねてしまう。誰かにしゃべりながら考えると、思いがけない適切な改善策やアイデアが浮かんだりします。話すことによって雑感とからみあった思念の糸が整理されるからです。

私は、常日頃、相談を受けることは、相談者から問題を切り離してあげること。問題と距離を置き、第三者の立場（傍観者的）にしてあげることです。

いわゆる、もう一人の自分を作る作業をしてあげることです。鳥瞰図、鳥が大空から地上を見渡すように、あなたのかかえている悩みは、あんなに小さなことであることを認識させると、スッキリしてくるものです。

そして、問題が起きた以前に、その方を戻してあげればいいのです。

企業も人を採用する場合は、運のいい人、幸せな人を採用した方が組織や企業は成長します。皆さんも、付き合うなら幸せな人と付き合いなさい、そうしたら自分も幸せな人生を歩むようになるからです。わからないなら、相手の親に会いなさい。意地悪する人は不幸な人なんです。自分の不幸や不満を他に与えて自分を平準化したいからです。

幸せな人は意地悪しないのです。何故なら満たされており意地悪する必要はないからです。

職場で、周りの人と自分に対する対応や態度などが違うと、感じだしたら、まず、行動を起こして下さい。

たとえば、同じ部屋なのにメールで送るとか。自分だけ会議や飲み会を知らなかったとかです。

メモ・日記・記録・録音・録画しても犯罪ではありません。

そして人権専門機関や我々人権擁護委員に相談することを覚えておいてください。相談していることを知られても、それは抑止力になります。

終わりに、人は、最善最高を想定して何事も取り組むものです。しかし、全てがうまく行くことはありません。最悪の事態に成ったらどうすればいいのか。行動する、取り組む前から失敗を考えておけば、最悪の事態に遭遇しても最良へ向かう手掛かりに成ります。いわゆる逆転の発想です。

このように、想定範囲で準備しておけば、いいのです。

人権侵害は、職場環境・人間関係・状況などで、ひとつひとつが違います。

それでは、具体的な内容に入ります。ひとつのヒントとしてとらえていただき、これからの人生の参考にして応用してください。

2. お別れの挨拶

お疲れ様でした。

人は、最善最高を想定して何事も取り組むものですが、全てがうまく行くことはありません。最悪の事態に成ったらどうすればいいのか。取り組む前から失敗を考えておけば、最悪の事態に遭遇しても最良へ向かう手掛かりに成ります。トラブル時にどう対処するかが、真のあなたの力なんです。

皆さんは、就職して人権侵害を受けても感じない人もいますが、必ず大なり小なり人権侵害を受けます。人間は万能ではない。一人で何でもしようとしなさいこと。できる人を使うことも大切です。

就職して職場に配属されたら、人間ウォッチング（人間観察）をお勧めします。行動や会話、そして誰と誰とがの繋がりなどわかってきて、そして、ひとり一人への対応がわかってきます。

これから、みなさんは、就職や進学しても、社会を構成する社会人です。社会人として備えておくべき人権意識を高め「していいこと悪いこと、言って良いこと悪いこと」など、その都度見極めながら、どうか、心を強く持って前に進んでください。

隣の人が鉛筆を落としたり、何も考えず拾って渡しますね。ありがたいも期待していません。具合悪そうにしていたら、近寄って「どうしたの」と寄り添い、症状を担当の先生か養護の先生に伝えるでしょう。

そう、自然と動けるように成ってください。（人権感覚から人権意識）

そして、社会人として自立することは、何でもひとりですることではありません。

自分が出来ないことは、出来る人にたより、そして、自分が出来ることで、周りの人が困っていたら、助けながら生きて行くような、暮らしやすい社会に なれば、いいなと思っています。皆さんも、そのひとりに成ってください。お元気で